

Def Doc 1809

金

林 義久

Hayashi Kaoru

典據及公正ニ關スル證明

）ハ余ガ左ノ署名ニ於テ朗テ

外務省文書課長

トシテ日本政府ト公的關係ニアルモノナルコト及茲ニ添付セラレタル
二頁ヨリ成ル昭和六年九月十一日附日本語文々書

重光公使發帶原外務大臣

宛電報第九一二號

證明ス

ノ原本ハ該官吏トシテ余力保管ニ任ジ居ル文書ナルコトヲ證明ス
余ハ更ニ添付ノ文書方左記官署ノ公文書類ノ一部タル日本政府ノ公文書

ノ正確ナル寫ナルコトヲ證明ス

日本外務省

昭和二十二年二月四日

東京ニ於テ署名

林 義久

（Odo Nageharu）

公的關係印
外務省文書課長
人名印
重光公使

ニ於テ遠ニ旅程ヲ作成セラレ度ク其上ニテ嘗方ノ旅程ヲ作成シ可成御遂
旨ニ列フ。送致スペシ覺書ハ出來次第御見セスベシト告ゲ量キタルガ更ニ
宋ハ湖南時局必ズシモ輕視スペカラザルヲ指摘シ往電第九一三號ノ如キ
談話チナセリ

奉天ヨリ木村理事ヲ通シ内田總理ニ轉報セシム
奉天、南京へ轉電シ上海へ轉報セリ

昭和 6

上海 本省

九月十一日後着
重光公使

幣原外務大臣

第九一二號(密)

往電第九〇四號宋子文ト會議ノ際宋ハ特ニ憂慮ニ堪ヘサルハ滿洲問題ナリ
玆在ノ如キ双方ノ感情ニテハ其結果豫測ヲ許サス自分ハ湖南問題ノ見
附クニ於テハ北平ニ張學良ヲ見舞ヒ更ニ吉林ニ張作相ヲ弔問スルコト
トシ其時大連ニモ立寄リテ内田伯トモ意見ノ交換ヲ行ヒ度シ勿論根本問
題ニハ今日觸ル時機ニ非スト思考スルガ小問題ニテ双方ノ協調可能ナ
ルモノモ多々アレバ出來得ル限り空氣ノ緩和ニ努メ協調氣分ノ醸成ヲ計
リ廣キ考ナリト述べタリ次デ宋ハ過日約シタル滿洲諸条件ニ關スル本使
電書ニ付「リマインド」シ尙本使ノ北方旅行力實現サルレハ自分ノ旅行
目的ヲ援助スル意味合ニテ大連邊リニテ落合ヘル様「アレンジ」願度シ
ト述ベタルニ付本使ヨリ湖南時局モ別ニ事フルニ足ラザルベケレバ貴下